

令和4年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	“あいとぴあ”さんかくセミナー第2回<男性の生きづらさ>			
講座の目的	男性は、打ち明けたりする環境やそれを実現する場が少ないので、悩みを抱える場合が多い。男性自身が困っているという視点から、男性だからこそその悩みとの向き合い方が見えてくる。さらに、男性問題にクローズアップすることによって、真の男女共同参画社会の実現へ向けて、考え方や解決策を見つける機会としての講座を開催する。			
募集対象	長野県在住・在勤、在学で、テーマに関心のある方			
定員人数	・オンライン 40名 ・パブリックビューイング会場 長野市 20名 東御市 50名 池田町 30名	申込人数	・オンライン 42名 ・パブリックビューイング会場 長野市 2名 東御市 3名 池田町 5名 合計 52名 うち後日配信希望 34名	当日参加人数 ・オンライン 18名 ・パブリックビューイング会場 長野市 2名 東御市 4名 池田町 6名 ・後日配信視聴回数 37回
申込方法	ながの電子申請サービス、電話			
託児	設定なし			
回数	1回			
開催場所	オンライン(Zoom) *後日配信あり パブリックビューイング会場(長野市、東御市、池田町)			
日時	7月23日(土) 13:30~15:30			
講師	濱田 智崇 さん 京都橘大学健康科学部心理学科准教授、公認心理師・臨床心理士 カウンセリングオフィス天満橋代表			
開催内容	講義「男性相談の現場から見える現代の生きづらさ」 ・『男』悩みのホットラインの活動 ・今の男性の生きづらさを考える ・男性の悩みの特徴 ・対策を考える			
参加者の声	・ジェンダー不平等を考えたとき、女性や性的マイノリティに目がいきがちですが、男性側の生きづらさもあることが分かりました。 ・男女共に、性役割分担や幸せな家庭像に縛られていると思いました。 ・男性らしさの鎧を脱げず、苦しむ人がいるのはよく分かります。悩みのある男性の相談を、長く電話で受けられているのはすごいことだと思いました。私個人としては何ができるのか、どうしていったらよいのかと思いました。			



濱田講師



長野会場



東御会場



池田会場